

大槌の子



大槌町立大槌学園 園報No. 21 令和4年2月9日発行

4年生～いのちの学習～



1月25日、「ハッピーバース研究会」岩手県立釜石病院助産師の木村裕美様を講師にお迎えし、4年生が「いのちの学習」を行いました。木村様からは助産師の仕事や、生命の始まり、心身の変化と二次性徴などについて丁寧にお話していただきました。特に、命の始まりは、紙に針の穴を開けた大きさぐらいと具体的に示していただき、子ども達は大変驚いたようです。無事に生まれてくるまでには大変な苦労があることも知ったようです。生命の神秘、産んでくれたお母さんや育ててくれた家族への感謝、自分の命や友達の命の尊さなど、たくさんの気づきがあった貴重な学習となりました。

4年1組 三浦 鈴

木村先生、先日は、いのちの学習ありがとうございました。自分のいのちは、どれだけ大切なのかを知りました。お母さんのおなかの中にいる時、すごく小さかったけれど、今はすごく成長しているんだなあと思いました。この学習をして、自分の命があることは、とても幸せだと知りました。たった1つだけの命なので、いろいろなことを楽しんだり、学んだりしたいと思います。

これから、家族や友だち、おじいちゃん、おばあちゃんを大切にしてくださいと思います。

4年2組 中村 綜大

先日は、体の仕組みについて教えていただき、ありがとうございました。赤ちゃんのしんそうのこどうが普通の人より早いことが分かりました。それを聞いて、赤ちゃんは成長するのに必死なんだと分かりました。ぼくも大人になるために、勉強をがんばったり、ご飯を食べたりすることを頑張っています。

おうちの人から愛情をうけているぶん、ぼくも将来、自分の子どもに愛情をあたえたいです。

7年生～生と性に関する学習～



7年生は、大槌町役場健康福祉課健康長寿班、保健師米田はるか様、港川咲絢様を講師にお迎えし『生と性に関する学習』を行いました。

7年生はより専門的な視点から、思春期の変化、体の変化とともに心の変化も大きいこと、性の多様性(LGBT)などについて学びました。生徒たちにとって、初めて聞いた内容も多かったようですが、真剣に命と性について考え、これからの生き方に生かしたいと感じたようです。生(命)や性に関する正しい知識を身に付け、責任を持って自他のいのちや身体、心を大切にしようとする気持ちを育むよい機会となりました。以下、生徒たちの感想を一部抜粋して紹介します。

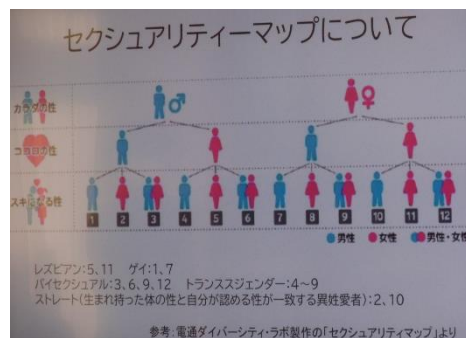
- ★ 性のことや体のことについて分かりました。岩手県の中絶数が他の県より多いことにびっくりしました。
- ★ 命への責任と、自分たちのこれからの考え方に今日の授業はとても大切だったと思いました。
- ★ 一つの命が辛い思いをしないために、自分にできることを学ぶことができてよかったです。

★ 米田さんから聞く話は、あまり人前では話せないような内容なのかなと思っていましたが、これからの将来にすごく大事なことだと気付くことができました。今回の授業が、男女一緒だったのも、LGBTのことを学ぶことに関係していることが分かり安心しました。

みんなが生きやすい世の中になってきているんだということが分かって、すごく嬉しかったです。

★ 世の中には、生と性で悩み、苦しんでいる人がたくさんいることが分かりました。人と人はどう繋がって生きていけばよいのか、どう付き合っていけばよいのかを学ぶことができました。

★ 世の中には、いろんな人がいるのだということを知りました。でも、その人たちを差別するのではなく、一人一人を尊重していこうと思いました。いろんな性があるけれど、みんな同じ「生」なので、親からもらった生（いのち）を大事にしていきたいと思いました。



8年生~PRムービー発表会~ ふるさと科

8年生がふるさと科の学習の中でPR動画を制作・発表を行いました。テーマは【大槌を知る～大槌の魅力を紹介しよう～】とし、自然・観光・ジビエ・郷土芸能の中から題材を選び、小グループに分かれて制作活動を行いました。制作に当たっては、地域おこし協力隊の皆様にご協力いただきました。短い時間で素材を撮りに行き、大槌の魅力が最大限に伝わるようにカメラアングルや文字、言葉などを工夫しながら、3分程度の動画に表現しました。



生徒たちのPRムービーをご覧になった地域おこし協力隊の方々からは、「動画を制作するなんて自分達が中学生の頃には考えられない。若い感覚だからこそできる力。大事にしてほしい。楽しみながら好きなことに挑戦してほしい。ふるさとに誇りを持てるよう、大人達も頑張りたい。」など、嬉しい感想をたくさんいただきました。

8年生代表の山崎嘉暖さんは「私たちの知らない大槌を知ることができた。もっと大槌を知り、誇りをもって大槌の発展に努めたい。」とお礼を述べました。

若い感性に頼もしさ大きな可能性を感じた学習となりました。この経験をぜひ様々な場面で活かしてほしいと思います。

地域おこし協力隊の皆様、ご協力ありがとうございました。

☆ 第10回大槌町鶴亀仙(川)柳コンクール 入選者 ☆

おめでとうございます!

テーマ【夢見る老後】

教育長賞	4年	材津 小春	『たんじょうび 百回するまで 生きていたい』
優秀賞	4年	小笠原 惇	『入れ歯なし 歯がまだのころ そうなりたい』
優秀賞	4年	東梅 優	『いつまでも 家族をあいし あいされたい』

